

事務連絡  
平成28年9月2日

地区協会 御中

一般社団法人 島根県建設業協会

建設発生土の官民有効利用試行マッチングについて

標記について、国土交通省中国地方整備局企画部技術管理課より、別添チラシによる周知及び協力依頼がありましたので、会員周知方ご協力お願いいたします。

なお、下記のホームページアドレスも参考として情報提供いただいておりますので、お知らせいたします。

<参考> 試行マッチング本省 HP

【記者発表】

[http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03\\_hh\\_000088.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000088.html)

【実施要領】

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/recycle/sosei\\_recycle\\_tk1\\_000003.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/recycle/sosei_recycle_tk1_000003.html)

【国交省HP】

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/recycle/sosei\\_recycle\\_tk1\\_000003.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/recycle/sosei_recycle_tk1_000003.html)

【建設リサイクル広報推進会議HP】

<http://www.suishinkaigi.jp/>

【マッチング HP】

<http://matching.recycle.jacic.or.jp/>

# 建設発生土の 官民有効利用 [試行] マッチング

## ●建設発生土の官民有効利用マッチングとは●

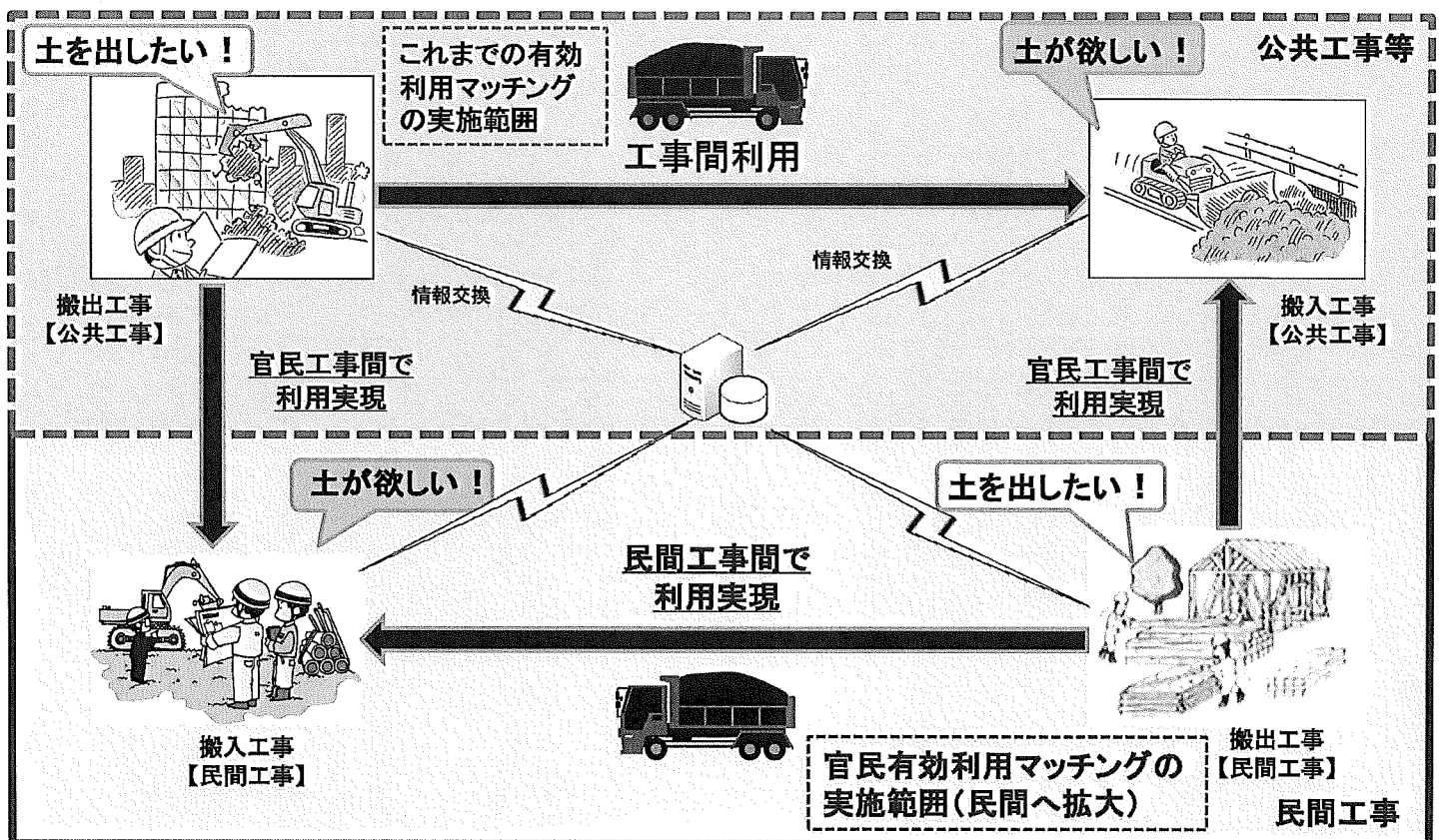
これまでは、建設発生土の有効利用について、公共工事等間での工事間利用を推進してきましたが、『建設発生土の官民有効利用マッチング』により、

公共工事、民間工事を問わず、

- 建設発生土を搬出する工事《搬出工事》
- 土砂を利用する工事《搬入工事》

土砂に関する情報交換を行い、『建設発生土の工事間利用』を推進します。

### 全体概要



# 建設発生土の官民有効利用試行 マッチングを行っています (平成27年6月～)

## マッチングフロー

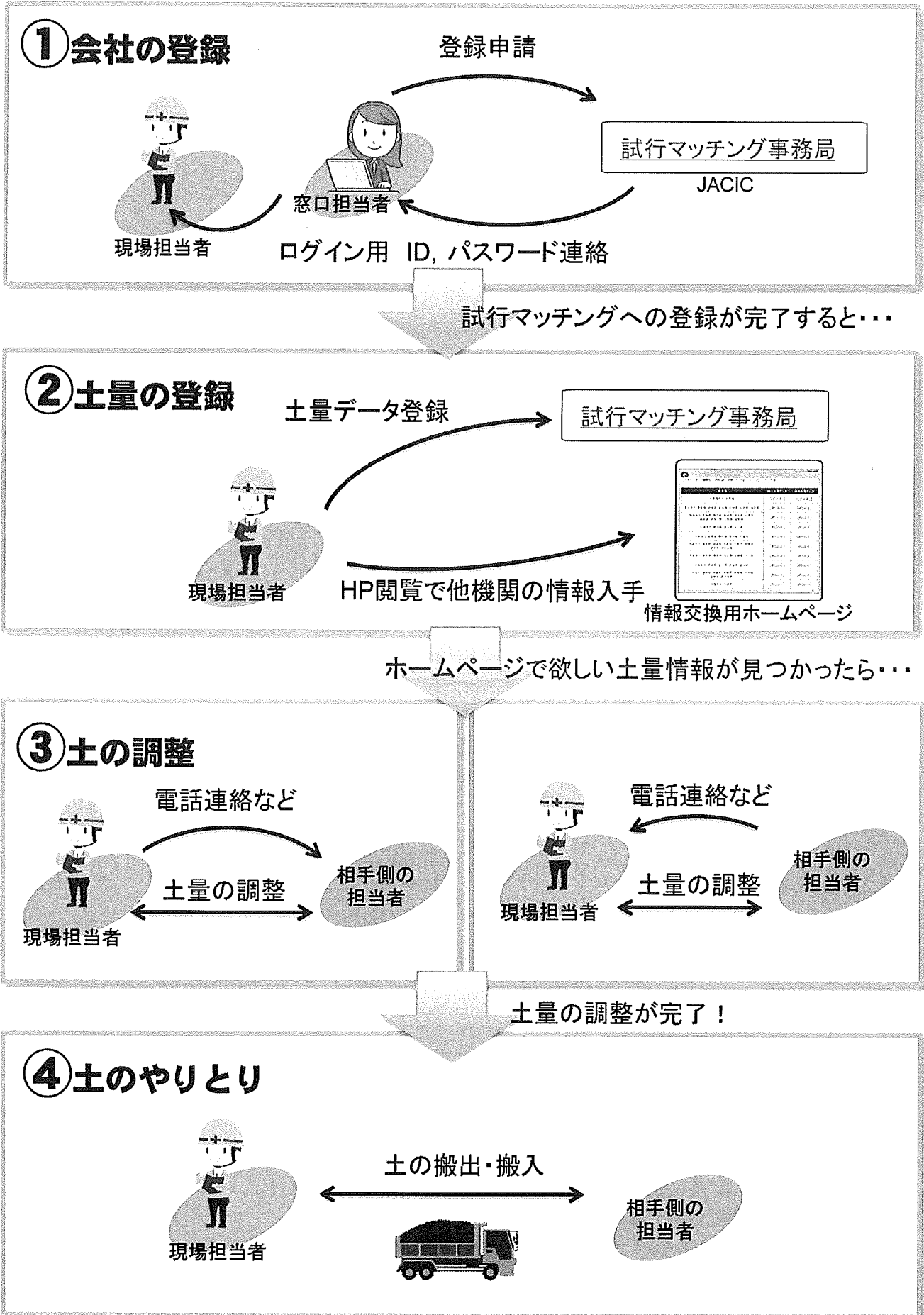


●次ページに、民間工事における連絡調整パターンを記述していますので、参考としてください。

※専用のホームページを介して、公共工事と民間工事の情報交換を行う仕組みを運用しています。

※より多くの土量情報が登録されると、工事間利用の機会も上がってきますので、積極的な活用をお願いします。

# マッチングフロー（現場担当者が連絡調整を行うパターン）



## ●平成28年4月末時点の登録情報量

平成28年4月末時点の登録土量は、次のとおりで、搬出工事が約3,200万m<sup>3</sup>、搬入工事が約1,500万m<sup>3</sup>となっています。

	公共工事		民間工事	
	搬出工事(m <sup>3</sup> )	搬入工事(m <sup>3</sup> )	搬出工事(m <sup>3</sup> )	搬入工事(m <sup>3</sup> )
北海道 <sup>注1</sup>	0	0	0	0
東北	2,152,184	1,521,543	5,000	35,000
関東	9,955,768	3,301,012	0	0
北陸	1,275,360	217,831	0	0
中部	2,963,185	1,636,860	68,600	50,000
近畿	8,613,749	6,189,365	13,137	90
中国	1,337,682	131,041	0	0
四国	3,058,073	1,091,110	0	0
九州	2,821,036	933,144	100,100	0
沖縄	30,838	0	0	0
全国計	32,207,875	15,021,906	186,837	85,090

注1：北海道（公共工事）は、独自の土量情報交換システムを活用しているため、本試行マッチングへの土量情報の登録はない。（専用ホームページで情報交換を実施）

## ●官民有効利用の実現事例も出てきています。

- ・平成27年9月には、公共工事と民間工事との間で工事間利用が実現しました。
- ・マッチングが実現した工事の関係者によると、次のようなメリットがあったとのこと。

### ～マッチング実現事例～

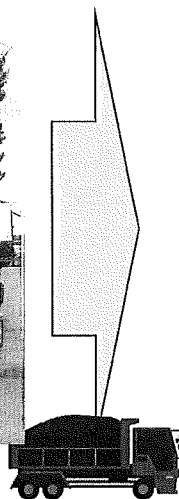
#### 《搬出側(民間)》

民間建築工事(学校新築工事)からの建設発生土を搬出



#### 《搬入側(公共)》

公共道路工事の路体用盛土として建設発生土を利用



#### ★搬出工事側のメリット

- 建設発生土の処分費用が削減できた
- 通常は実現が困難な公共工事との利用が実現した

約1,000m<sup>3</sup>利用  
利用時期：平成27年9月

#### ★搬入工事側のメリット

- 土砂の購入費が削減できた

# 官民有効利用試行マッチングへの 参画をお願いします。

## 登録手順

①下記、『建設発生土の官民有効利用の試行マッチングホームページ』より、登録申請書をダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、『建設業許可の写し』と一緒に、次の申し込み先まで電子メールで送付してください。

recycle@jacic.or.jp

- ②事務局で、連絡先・記入事項について、確認をさせていただきます。(TEL、e-mail 等で確認)  
③確認させていただいた連絡先へ、『登録承認書』をメールさせていただきます。(概ね、②の1営業日後)  
④『登録完了通知(ユーザーID/PW)』『住所コード表』『民間工事土量情報提出表』などをメールで送付させていただきます。(概ね、③の2営業日後)

【建設発生土の官民有効利用の試行マッチングホームページ】  
URL：<http://matching.recycle.jacic.or.jp>

※試行マッチングホームページの活用においては、次の事項に留意してください。

### 【試行マッチングホームページの活用における留意点】

#### ○ホームページ動作確認済ブラウザ

- Internet Explorer 8、9、10、11
- FireFox 42.0
- google chrome
- Android 5.0、iOS8 《タブレットPC、スマートフォンでもデータ確認ができます》

#### ○ダウンロードファイル

- ファイル形式：ZIP 形式で圧縮  
→ファイルを開くには、別途解凍ソフトが必要です。
- ファイル名：XX\_●●地方\_搬入\_YYYYMMDD.zip  
→XXには、02(東北地方)、03(関東地方)、04(北陸地方)、05(中部地方)、06(近畿地方)、07(中国地方)、08(四国地方)、09(九州地方)、10(沖縄地方)が入ります。  
※北海道地方は、別方式のマッチングを企画中です。  
→(YYYYMMDDは、公開データの作成年月日(西暦年)を示します。
- 解凍ファイル：Microsoft Excel 2007 以上(xlsx形式)

### 【平成28年度試行マッチングにおける問合せ先等】

建設発生土官民有効利用試行マッチング事務局

一般財団法人日本建設情報総合センター 建設副産物情報センター

TEL：03-3505-0416 FAX：03-3505-0520

E-mail：recycle@jacic.or.jp

AM 9：30～PM 5：30 (土・日・祝を除く)